

バス散歩で自然の多い場所に出向き、斜面を登ったり滑ったりなどして身体を動かした。試行錯誤しながら斜面登りに挑戦したり、友だちの様子を見て学んだり助け合いながら頂上を目指して進んでいく姿があった。またどんぐりや松ぼっくり、栗などの収集から季節の自然物とふれたり、菊間先生から教わった自然物を使った遊び方を実践した。山道の散歩を通して体の使い方や遊び方を学び、自然と触れあっていた。



自然の中での遊び方を自然保育アドバイザーに教えてもらったことを実践し、「ばあ！」葉っぱでお面を作ったり、葉っぱをうちわや傘に見立てて遊ぶ。山で見つけた自然物を友だちに貼ってもらいながら冠作りを楽しんだ。川沿いに生えている葦の枝をフリフリして楽しんだり「お掃除♪お掃除～」とほうきに見立てる。自然の中での植物を様々な物に見立てながら友だちとイメージを広げ、遊びを自分たちで考え共有して遊ぶ。「この先には何があるんだろう?」「僕もやってみたい!」と冒険や探検を楽しみ、木登りに挑戦した。



みどりの森みらい保育園

(5歳児)



春の散歩で、たけのこや竹の性質を知り、様々な気付き（皮を向いた後の竹の感触や色・音が鳴る・模様が描ける等）・発見を楽しんでいた。夏祭りには、「竹太鼓を作ろう。」と声があがり、日々の体験からの学びが、繋がっていた。



古川で、小魚を見つけて捕まえたり、友だちと一緒に池垣の大きさを工夫したり、試行錯誤をしながら遊び込んでいた。



自然物(笹・ヒメジョオン・桜の葉等)を使って、採集、染めもの、色付けを行い、実験しながら知識や興味を深めていた。



集めた自然物を製作や年賀状購入の枚数を数える時に利用していた。

自然と共存して遊ぶ

～ドキュメンテーションから～

(3歳児・4歳児・5歳児)

みどりの森みらい保育園分園

『行ってきたよ、また行きたい!』～比治山公園～



「ここみてー! きがこわれてるー」 『なんかいるよ』 (発見)



『だんごむし! おおきいね』 (興味)



『おばけー!!』



『あっ、かたつむりいる』 「おはなししてみる?」 『おはなしできなーい!』 『お話してみようかなー?』 (興味、関心)



『あっ、キノコ!』 「触ってもいいよ」



「ここ登れるかな?」 『こわーい!、待ってー!』 『がんばってー!』



『わー!』 『よいしょ、よいしょ、ちょっと怖い』



『よいしょ、よいしょ、』



『もうちょっと』（手足の交互性）

森さんぽに行きました。森での楽しい遊びを教えてくれる先生と一緒に発見の連続でした。大好きなダンゴムシ、かたつむり、鳥の声、葉っぱ遊びと5感をフルに使いながら自然の中で笑い合い、言葉で気持ちを伝え合い、笑顔が絶えない時間でした。山道を歩きながら暗くなると「こわーい！まってー！」等気持ちを伝えながら、友だちに手を引いてもらい、助けてもらいながら頑張る姿もありました。

『いいものみ一つけた。やってみたい。』



『一本橋する！』



『とどかなーい！』



『これに乗ったら届くかも？』 『おもーい！』



『こっちから登る！』 『くつは滑るね』



『裸足でやってみる』



『やりたーい！』



『みてー！』 『やったー！！』



『ここにいっぱいある！』



『こんなにいっぱい！』

秋の比治山公園。探索しながらどんぐりを拾って歩きました。「こっちにいこう」「あっちの公園行こう」など、話し合う姿もありました。みんなで決めた場所で遊んでいると大きな木を発見。初めての木登りをして遊びました。どうやったら登れるかなど、自分たちで考え、体にぎゅっと力を入れ、登る姿がありました。前を見て体に力を入れる姿はとても輝いて見えました。自然の中で秋を満喫した子どもたちです。

山の中の散歩



「こっちにいったら、なにかあるかね？」 「ちょっとこわいけど、いってみよ」



「このぼってみたい！」 「ここから、どうやっていったらいいん!?」 「すべる〜！」



どこに手や足をもっていき、どう使って山を登っていくかを考えています。



“ここならいけるかも”と判断した時、しっかりと目標に向かって手を伸ばし、自分の力で前へと進んでいます。

子どもたちがあまり経験したことのない山道を歩きました。道なき道を行き、先に進むには“どこをどう通っていくか”を考え、手や足をしっかりと使っていきます。足場が悪いので、一人ひとりが慎重になりながら、一步一步しっかりと進んでいました。登り切った時には「のぼれた！」と達成感を味わう姿も見られました。

比治山さんぽ



「このはっぱさ、てにのせてたいたら、ぱんっ！ておとがなるんよ！」「ええ～、やってみよ～」「ほんとだ～！」
「いいおとがする～！」



「こんなところに、あながあるよ！」「ありのあな！？」
「かたつむり！？」「ええ～、なんだろ～！」「なにもみえない。なにかいたのかなあ。」



「おお～い、こっちだよ～！」「がんばれ～！」



「やつほ～！」「おお～い！」



「きのぼりやりたい！」「みてみて～！なんかパンダみたい～」

久しぶりの比治山公園は、子どもたちの興味をくすぐる物がたくさん！「あれなに！？」「あっちに行ったら虫とかおるかも！」「前に行ったところで遊ぼ！」など、友だち同士で声をかけ合いながら散歩をしていた子どもたち。やりたいことがあり過ぎて、「今度は早く出発したらもっと遊べるんじゃない？」「そうしよう！」と子どもたちは次の散歩を楽しみにしています。

美味しい比治山公園！



菊間先生と比治山公園に行ってきました！「これ血みたい！」サクラランボの実を（ソメイヨシノ）つぶして「ゾンビ〜！」“自然の色を楽しむ”



「にっが！！」食べてもいいよと言われ食べたものの苦さにびっくり！“体験”



「このツルをひっぱってはなすと、、、」「わー！！雨降ってきた！」“自然遊びを楽しむ”



「ここのぼれん、、、」「手伝ってあげようか？」岩登りでは友だちと高い所に登っていました！“思いやり”



「こんな所も入るの、、、」「蜘蛛の巣あるけん頭下げてね！」「こっちに行くよ！ついてきてよ！」気分は探検家のような子どもたちです！“やってみる”



そして一番のお気に入り♪『草イチゴ』としてはすぐに食べた子どもたち！「あった！こっちも！」とたくさん見つけて10個以上食べている子もいました！

雨上がりの比治山公園。菊間先生とすぐに仲良しになった子どもたちは「これは？」「こっちにも行ってみたい！」ととても意欲的に進んでいました。本物の自然と触れ合う中で、心も開放し、“気になる”“やってみたい”“知りたい”が溢れる子どもたちでした！子どもたちの興味は無限大です！日々自分の発見を友だちに伝え、遊びや実験をしながら学んでいます☆次はどんな自然との出会い、発見をしてくれるのか楽しみです！

探検隊になりたい？！



「この花きれい！」「なんかここ長いよね！」“発見”



「この花みたよね！これは知らん、、、」と図鑑を見ながら考えている姿もあります！“知りたい”



「この上なんかある？」「これ使って行って！」と一緒に考えながら上を目指す子どもたちです！“協力”“一緒に考える”



「疲れた、、、」「この杖いいんじゃない？」「お～らくらく♪」



「最後だよ！！がんばれー！」と友だちの応援もあり、最後まで登りきりました！“達成感”



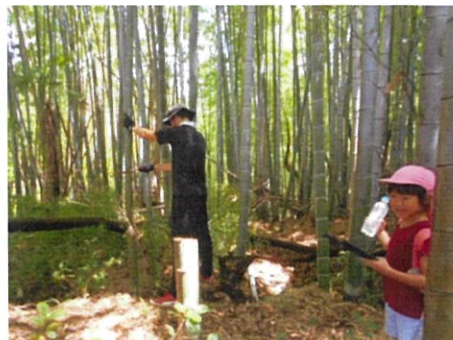
「あったー！！」と草イチゴを発見！！「あつま～い！」と美味しいものもゲットしていました！

そら組と一緒に比治山公園に行きました。以前とは違うルートで歩いていくと「この実、食べて見て！」「これこれ！」とそら組に進めて「にっが！」の表情を見て大笑い！（笑）また、急な坂も上って「無理～！」と言いつつも最後まで頑張って登りきり達成感を感じているようでした！自然と触れ合う中で気づきや発見、友だちとのやり取りもどんどん膨らんでいるようです！

どれがいいかね？



竹を取りに高須台に行きました！「どれがいいかね！」「これとか？」“目的を持って取り組む””



「これにする！」と自分たちで決めて切ってもらい



「よし！もってかえるよ！」と自分で持って帰る子どもたち！



お休みの子の竹はそら組さんが手伝ってもらって「これ持つね！」「ありがとう！」と素敵なやり取りもあります！



「もうちょっと、、、」と最後までしっかりと持って帰りました！何になるのか楽しみです☆彡

お泊り保育で使う物を自分たちで考えて取りに行きました！「これは？」と探している中、なかなか決められずにいた子もいましたが「2人で決めよ！」と一緒に竹を選んだり、休んでいる子の竹も一緒に考えている姿もありました！自分一人じゃない！という姿がたくさん見られました！友だちと一緒に考えたり、決めたりする中で、自然と友だちのことを思いやっている子どもたちです！！

一緒にやろ！



そら組のおはなチームと一緒に散歩に行きました！バスに乗る前に本園さんでメダカを観察。「どこ？」「ザリガニもおるって園長先生いっとったよ！」「え！！何色？」“興味関心””



バスで三滝寺へ♪「水が流れとってきもちいね！」「葉っぱ流してもいい？」“やってみたい”



おはなチームが見ているのに気づき「この葉っぱで、してみる？」「やってみらん！」と優しく声をかけてくれる姿がありました！



そら：「あそこに蛇がおる！」ひかり：「しーよ！遠くから見てね！みんな見えた？」



階段を降りる時も「ゆっくりでいいけんね！」「あつかったら氷の水があるけんってね！」とそら組のお友だちの様子を気に掛けながら散歩を楽しんでいました！！



階段で塩昆布を食べる時は「そこは人が通る所よ！」とそら組さんたちが言っている様子を見守ってくれている子どもたちでした！“見守る”

ひかり組と一緒に、どきどきな様子のそら組おはなチーム。そんな様子を見ていた子どもたちが、自分たちから優しく声をかけてくれる姿が多く見られました！「一緒にしてみる？」「あつい？大丈夫？」とどんどん声をかけてくれ、優しく見守ってくれていました。異年齢での関わりを通して“自分はお兄ちゃん、お姉ちゃん”と感じ、関わりかたを自分たちで工夫しています！！